種名	ア オ サ ギ <u>Ardea cinerea</u>

分類	コウノトリ目 サギ科													
特徴	じっとたたずんでいることが多い、全身灰色の大きなサギ類。ユーラシアとアフリカ大陸の温帯から熱帯で広く繁殖する。日本では北海道、本州、四国、対馬で繁殖し、北方のものは冬期は暖地に移動する。													
生活	川、池沼、水田、干潟などに棲息し、水の中をゆっくり歩いたり、じっと立ち止まって待ち伏せしたりしながら魚を捕らえる。大きな魚はくちばしで突き刺して捕らえることが多い。捕らえた魚はくわえ直して頭から飲み込むが、岸に打ち付けて殺したり、飲み込む間に水で洗うことがある。じっと休んでいる姿を見ることが多く、翼を下げ、前で合わせる独特の姿勢で日光浴をする。													
声	繁殖期には「クアー」とか「ゴアー」という声で良く鳴き、雛は「ジャッジャッ」とやかましく鳴き立てている。また繁殖期以外でも、飛び立つ時や飛翔中にも「クアー」と大声で鳴くことがあり、特に夕方や夜明けに鳴くことが多い。													
見分け方	大きさと色彩で識別は容易。													
時期：寒地	(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10	-	-	
：暖地	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
その他	産卵期は4～5月 全長(L)93cm 翼開長(W)161cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														